

<報道機関各位>

令和8年10月8日

福島県

(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構（福島イノベ機構）

福島県と福島イノベ機構が支援するスタートアップ (株) wead が東北最大級の音楽フェス「LIVE AZUMA 2026」の イベント会場にて「ゴミをその場で資源化する車載システム」の 実証実験を実施します！

福島県及び福島イノベ機構が、令和6年度から Fukushima Tech Create (FTC) 事業で支援しているスタートアップの株式会社 wead による「イベントやフェス等で発生するゴミを、その場で資源化する車載システム（もぐる）」（※）を利用しての実証実験を、主催者である LIVE AZUMA 実行委員会様や、東邦銀行様のご協力のもと、東北最大級の音楽フェス「LIVE AZUMA 2026」の会場にて行います。

当社は、今年の7月23日～26日の4日間、国内最大級の音楽フェス「FUJI ROCK FESTIVAL'26」でも実証実験を行い、ゴミの減容化に成功しております。

これらの内容に関心をお持ちいただき、ご取材いただける場合は裏面の「4. 取材の事前連絡について」を送付いただけますよう、よろしくお願いいたします。

※「ゴミをその場で資源化する車載システム（もぐる）」

株式会社 wead（ういーど：本社 愛媛県）が開発した車載型ゴミ資源化システム。『EV 自動車 X 独自開発のごみ高速分解促進剤「greevy®」 X 発酵装置』で、イベント、お祭り、展示会、フェスなど、どこでもゴミをその場で減容・資源化（堆肥化）します。これまでに、「中目黒のさくら祭り 2026」では、約 25 キロ（約 150L）のゴミを約 30L まで減容しました。

記

- 1 取材方法 取材いただける報道機関様と、以下の日時内で別途調整させていただきます。
- 2 取材内容
 - (1) 当社事業内容及び実証について

- (2) 実証日時 令和8年10月17日(土)～18日(日)
 実証時間：両日とも10時～18時
 取材対応時間：両日とも12時～14時
- (3) 実証場所 福島あづま球場 あづま総合運動公園
 会場「東北市場酒場 yokochi」内 (図 ○付近)



- (4) 実証内容 期間中に、会場内で排出された食べ残し・飲み残しや、キッチンカーで使用された紙容器を、その場で減容・資源化する取り組みを実施
 別紙：「株式会社 wead ニュースリリース」参照

2 取材の事前連絡について

取材につきましては、事前にメールにて以下内容をご連絡いただきますようお願いいたします。担当から追って連絡いたします。

(1) ご連絡先/内容

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構 事業創出支援課

E-mail アドレス jigyoshien@fipo.or.jp

①御社名

②ご担当者ご所属・氏名

③ご担当者連絡先(電話番号、E-mail アドレス)

④取材人数

⑤TV カメラの有無

(2) 連絡受付期限 令和8年10月16日(金) 15:00

(参考)

1 株式会社wead（ういーど）

本店所在地：愛媛県松山市久米窪田町337-1テクノプラザ愛媛本館内

支店所在地：福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字斉藤屋敷40番地1

設立日：令和5年8月4日

社名由来：世の中に眠っている研究シーズ（seeds）と社会のニーズ（needs）を編み込み（weave）、新しい商品やサービスを生み出すハブのような存在になりたいという思いから、「wead（weave＋seeds/needs）」

当社HP：<https://www.wead-inc.com/>

当社紹介動画（福島イノベ機構作成）<https://www.fipo.or.jp/ftclp/>

2 福島県・福島イノベ機構の支援内容

Fukushima Tech Create（FTC）事業での支援

令和6年 ビジネスアイデア事業化プログラム

令和7年 アクセラレーションプログラム

令和8年 アクセラレーションプログラム（継続）

【お問い合わせ先】 （公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構
産業集積部 部長 小林 正典（こばやし まさのり）

電話：024-581-6889

〒960-8043 福島市中町1-19 中町ビル6階

【その他問い合わせ】 福島県商工労働部産業振興課 主幹兼副課長 廣瀬 順平

電話：024-521-7277（内線2944）